

活力あふれるコミュニティのまち (地域再生)	完了か継続	判断理由
①定住人口の確保		
1) 移住希望者のための住宅地の確保	完了	被災者入居住宅の建設は完了した。 また、50%に満たないまでも継続より完了という回答が多いため。
2) 高齢者に配慮した公営住宅建設	完了	50%に満たないまでも継続より完了という回答が多いことから完了とした。
②コミュニティの再生		
1) 災害公営住宅、集団防災移転等による行政区、隣組の再編	継続	震災により行政区への人数及び世帯数のばらつきが生じており、現在区長への聞き取りを実施し行政区再編の検討を進めていることから継続とした。
2) 各地区に地域コミュニティセンターを設置 (防災・避難の拠点及び児童の放課後対策にも活用)	継続	策定当初の意見からすると、八沢地区にコミュニティセンターができれば完了なので継続とした。
③にぎわいづくり		
1) 鹿島区の歴史や食文化など地域の特色を生かした事業の推進	継続	
2) 舊からある行事(敬老会等)の復活、地区住民の交流を促すイベントの実施	継続	敬老会は市長が行わないと発言したため、まちづくり委員会で行っていただくように働きかけを行う。 夏祭り、盆踊り、スポーツ大会が復活すれば完了としたい
3) 街なかへ行き来する交通体系の整備(デマンドタクシー等)	継続	現在低額タクシーや乗合タクシーの運用が開始されれば完了。
4) 世代間交流の場を設け交流事業の展開		策定時地域協議会の意見でまごころセンターの整備となっている。かしま交流センターの整備が完了し自主事業も実施している事務局としては[完了]
5) 日常的に高齢者が集まる居場所づくり	継続	町中に老人の居場所をという意見が実現すれば完了。
6) ペットと人が共生できる快適な環境づくりの推進		策定当時の目標と現時点での目標に迷いあり。 施設をつくることが目標となっているが策定時はドイツのペット教育である殺処分のない環境づくりが目標だった。項目は具体的にした方がよいのでは?
④土地利用計画の策定		
1) 鹿島区全体の土地利用の方向性の策定 (農振区域や都市計画区域の見直しを含む)	完了	国土利用計画を作成した。
2) 仮設住宅用地の跡地利用 鹿島分場、防災備蓄倉庫、パークゴルフ場、市民農園など	継続	仮設住宅が撤去され、これから解体となるため。 ただし市の方針は借りた時の状態に回復し、地権者へお返しすることとなっている。
3) 市営大谷地住宅の跡地利用	継続	跡地利用について方向性が決まれば完了としたい。

地域資源を活かす産業と交流のまち(経済・産業)	完了か継続	判断理由
①農林水産業への支援		
1) 農業の再生と漁業の再開	継続	漁業が再開すれば完了
2) 6次産業化への取組み	継続	継続の意見多数。
3) 風評被害対策	継続	継続の意見多数。
4) 真野川の水産資源(鮭、カニ、鮎)を生かした地域の振興	継続	水産資源を活かせるまでに達していない。放射性物質の影響で安全性に不安を持つという意見が多数。(採捕、出荷制限中)
②街なか活性化		
1) 鹿島駅周辺と商店街の活性化	継続	後継者の育成が課題という意見が多い。
2) 商店街の後継者育成	継続	後継者の育成が課題という意見が多い。
3) 世代間の交流ができる場所づくり	継続	活力あふれるコミュニティのまちの③④)と何が違うのか?
③新たな産業創出		
1) 再生可能エネルギーを活用した先進的なまちづくり	継続	建設が完了すれば完了とする
2) 工業団地造成、企業誘致及び雇用確保の推進	継続	
3) サービスエリアを活かした地域の振興	継続	セデッテかしまのイベントで地元の食品販売等行っている。鹿島区の街中にお客さんが流れりようになれば完了
④雇用創出・確保		
1) 区役所での雇用相談の実施	継続	実現すれば完了だと思う。区役所に必要か。
⑤観光の振興		
1) 恐竜の足跡や化石等の地域資源を活用した観光事業の展開	継続	博物館の事業で「化石のレプリカをつくろう!」「コハクを取ってみよう!」を実施している。かしま交流センターの自主事業でも少年少女化石探検隊を実施中。南相馬市民以外の参加者が増え、それをきっかけとして環境事業として盛り上がりがあれば完了。
2) 観光ボランティアの育成	継続	観光交流課でボランティアガイドを募集し、人材を確保。南相馬観光協会で南相馬ボランティアガイド申込みを受け、史跡・観光地を案内している。新たな人材を育てる取組を実施すれば完了
3) 地元の食材・加工品を活用した特産品の開発・PR	継続	6次化産業とくつつけられないのか
4) サーフスポットのPR強化	継続	右田浜、鳥崎浜をサーフスポットとしてPRし、サーファーでにぎわえば完了
5) 相馬野馬追の後継者育成	継続	
6) 一本松を活かした商品と観光コースの開発	継続	一本松太郎というキャラクターができた。伐採後どうするか。

健やかに安心して暮らせるまち (保健・医療・高齢者・障害者福祉・ 子育て)	完了か継続	判断理由
①住民の健康管理支援		
1) 健康診断、内部被ばく検査、 甲状腺検査の継続実施	継続	継続実施している。
2) 高齢者世帯の社会参加を促すこと による介護予防	継続	今後高齢化がさらに進むことが見込まれることから。
3) 全区民に健康手帳を配布し、特に 子どもたちや若い人たちの将来の健康 管理を支援	継続	健康手帳を配布すれば完了。もしくは健康管理 の制度を今後も維持する必要はある。正しい知識の普及を一人でも多くの市民へ。
4) 定期的な放射性物質にかかる 研修・勉強会の開催	継続	
②医療機関・老人介護施設の充実		
1) 医師、看護師の早急な確保	継続	
2) 原発事故に伴う医療費の無料化	未定	①そういう時期ではない。 ②地区地域により不平等感があり新たな方法を 検討すべきという意見あり。
3) 高齢者の集団生活施設 (特老、ケア付き老人用マンション、 シェアハウス等) の建築と在宅医療制度 の拡充、促進	継続	
4) 独居暮らし、寝たきり、高齢者 家庭に緊急通報用の電話機の設置 (安否確認)	完了	緊急通報システムの設置が進んでいる。
5) 老人福祉施設・介護施設の増設	完了	ユニット型小規模介護施設万葉園の完成。
6) 鹿島厚生病院の診療科増設による 総合病院化	継続	策定時の意見では、小児科開設すれば完了。
③子育て関連施設の充実		
1) 屋内外の遊び場・プールなどの 子育て支援施設の確保	完了	50%に満たないまでも完了の意見が継続の意見 を超えたため。区内に2か所の屋内遊び場が完成 している。
2) 幼稚園、保育園の施設の充実	継続	増設の必要性があるか?かみまの保育園の老朽化 や幼保一元化の意見あり。
3) 鹿島区内の小学校単位に児童館を 設置	完了	50%に満たないまでも完了の意見が継続の意見 を超えたため。
④子ども子育て支援		
1) 地域と P T A、学校が一体とな った土曜教室を開催	継続	教師への負担をかけないようにという意見あり。
2) 園と別枠で子ども手当実施	継続	継続の意見多数のため。

地域に学び育つまち (教育・文化・スポーツ)	完了か継続	判断理由
①教育環境の充実		
1) 教育施設の充実	継続	策定時の意見では八沢小学校校庭の拡張が実現すれば完了。
2) 県立相馬養護学校の誘致推進	完了	誘致は完了。平成30年代の早い時期に完成は決定した。
②芸術、文化、スポーツ活動の環境整備		
1) 歴史民俗資料館の再建	継続	建設したら完了
2) 映画鑑賞の機会の充実等、主婦や中年にも魅力ある文化事業の展開	継続	映画鑑賞の場所（機会）をつくれば完了
3) スポーツを通して幅広く人が交流できる体育施設等の整備 (野球場周辺の効果的な利活用)	継続	策定時の意見では、4地区に体育館を整備、角川原グラウンドの整備、みちのく鹿島球場の電光掲示板及びナイター設備の設置、野球場周辺の運動公園の整備、真野川の土手を利用したマラソンコースができれば完了。
4) 地域の伝統文化を残す教育の推進	継続	流れ山踊り、各地区の神楽を残す取組を子どもを対象に行えば完了
5) 区内マラソン大会の実施	継続	区内マラソンを実施すれば完了
③真野小跡地の活用		
1) 真野小学校の西側校舎と体育館の活用	完了	50%に満たないまでも完了の意見が継続の意見を超えたため。真野交流センター完成のため。
2) 真野小のグラウンドを整備し、多目的なグラウンドとして利用	完了	50%に満たないまでも完了の意見が継続の意見を超えたため。
④子どもの体力向上と肥満対策		
1) 子どもの遊び場施設の設置	完了	50%に満たないまでも完了の意見が継続の意見を超えたため。鹿島区内に2箇所設置済みのため。

安全で災害に強いまち(復興)	完了か継続	判断理由
①放射性物質による汚染への対応		
1) 環境放射線量測定を実施し、定期的に情報を広報	継続	各所で測定している線量をホームページ等で定期的にお知らせすること
2) 仮置き場の確保	完了	仮置き場の確保は完了した。 アンケートでも完了という意見が50%を超えた
3) 即急な除染（生活圏、農地、ため池、防火水槽、川、山）	継続	策定時の意見からすると森林の除染及び真野ダム、河川の土砂堆積物を除去すれば完了。
4) 真野ダムの安全性の確保	継続	真野ダムの放射線量を定期的に公表することを継続する。
5) 食の安全のために、食品検査の態勢を強化	継続	自家消費野菜等放射能検査を継続実施する。
②災害に強いまちの創造		
1) 大災害時の避難先の確保	継続	継続の意見多数
2) 交通インフラの整備	継続	震災による道路の補修というより通学路の整備の意見となっている。
3) 避難道路の整備	継続	交通渋滞がなく避難できる道路
4) 非常用備蓄倉庫の設置	継続	建設されれば完了
5) 鹿島分署の改築	継続	建設完了すれば完了
6) 震災を記憶する公園の設置	継続	設置されれば完了
7) 一本松を活かした復興のシンボルづくり		一本松太郎というキャラクターができた。 一本松が伐採された後どうするのか？
8) 消防団の充実	継続	企業の消防組織の協力、連携を図り消防団の人員を確保できれば完了
③インフラの整備		
1) 下水道整備	継続	継続の意見多数。具体的にどこなのか確認し、整備すれば完了。
2) 河川改修	継続	策定時の意見では御山橋上流樋の河川改修と潤谷川の土砂撤去をすれば完了
3) 西部集落排水処理場の処理区域の拡大と増設	継続	拡大及び増設すれば完了
④復興計画の早期着実な推進		
1) 復興計画を早急に示し、進捗状況を定期的に開示	継続	市民説明会にて定期的に報告している。
⑤賠償・補償の支援		
1) 賠償の差別問題の解消		今問題にすることではないという意見と解消を強く望む声がある。
2) 風評被害の早期解決のため原発事故の確実な事故処理を要求していく	継続	事故処理が完了するまで完了とならない

